

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学呼吸器外科学講座ならびに福島県立医科大学会津医療センター呼吸器外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報および病理標本（検体）の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年8月

福島県立医科大学呼吸器外科学講座 岡部直行

■ 研究課題名

非小細胞肺癌切除例における腫瘍の微小環境と全身の筋肉量の予後因子としての意義を解明するための後ろ向き研究

■ 研究期間

2026年9月 ～ 2030年12月

■ 研究の目的・意義

本研究は、非小細胞肺癌に対して外科的切除を受けた患者さんを対象に、腫瘍の免疫環境と術後の体の状態の変化が、手術後の経過や転帰とどのように関係しているかを明らかにすることを目的としています。

近年、がんの進行や再発には、がんそのものの性質だけでなく、体の免疫状態や全身の健康状態が関与していることが分かってきています。本研究では、手術で切除された腫瘍組織にみられる免疫反応の特徴や、手術前後のCT画像から評価できる筋肉量の変化に着目し、これらと手術後の経過がどのように関連しているかを調べます。

本研究により、肺癌切除後の術後経過や予後に関わる要因についての理解が深まれば、将来的には患者さん一人ひとりの状態に応じた診療やフォローアップ方法、周術期管理の改善につながることを期待されます。また、肺癌の病態に関する新たな知見を得ることで、今後の診療の発展に役立つ基礎的な情報となることを期待されます。

■ 研究対象となる方

本研究の対象となるのは、以下に該当する方です。

- ・2010年1月～2021年12月の期間に肺癌または肺癌疑いの病変に対して、福島県立医科大学附属病院または福島県立医科大学会津医療センターにおいて、外科的切除術（肺葉切除術）を受けた方

- ・病理学診断で非小細胞肺癌と診断された方
- ・手術前および手術後の診療情報や CT 画像が保存されている方

なお、本研究は過去の診療記録や検査データを用いた後ろ向き研究であり、新たな診察、検査、治療を行うことはありません。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から、臨床因子（年齢、性別、喫煙歴など）、血液検査データ、CT 画像、病理組織の病理学的情報、術後成績などについてまとめ、統計学的に評価します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年9月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学呼吸器外科学講座であり、研究責任者は福島県立医科大学呼吸器外科学講座 岡部直行です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学呼吸器外科学講座と会津医療センター呼吸器外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当しません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21-2

福島県立医科大学会津医療センター呼吸器外科学講座 担当：藤嶋康祐

電話：0242-75-2100 e-mail：f-kosuke@fmu.ac.jp